

(様式1)

# 施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和3年 1月～ 3月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市健康長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人人体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A	職員5人のうち2人体制を常時取っている。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	ボイラー技士、看護師、准看護師、介護福祉士。	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A	業務日誌と修繕記録にて管理している。	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A	病気ケガ・事故や不審者対応と福祉避難所のマニュアルはある。	
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	新型コロナ感染拡大防止のための各部屋人数制限をしつつ、徐々に利用数が増えてきた。		A	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A			A	
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A			A	体育館の指定管理者主体に定期的に行なわれている。
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	会館周囲の除草をし美化に努めている。		A	体育館の指定管理者主体に清掃・剪定が行なわれている。
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A			A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	感染症予防の啓発ポスター掲示		A	主に掲示物にて行っており、あとは体育館と共にアナウンスの実施。
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A			A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A	1/26事務室の照明機器取替、1/28娯楽室和室の障子襖張替、3/26女子風呂網引戸修繕		A	修繕記録にて管理。
	備品は適切に管理しているか	A			A	老福Cの備品台帳で管理。
	消耗品等は適切に補充しているか	A			A	
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A	高齢者趣味教室講座はコロナ禍においても可能な限り実施した。		A	新型コロナウイルス感染拡大の動向を見ながら適切に実施されている。
	自主事業は適切に実施されたか	A	スマホセミナー1/15参加8名、認知症サポーター養成講座3/30参加20名、腸活講座3/30参加19名		A	新型コロナウイルス感染拡大の動向を見ながら適切に実施されている。
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A			A	鍵のかかる書庫に管理。
	【①に係る指定管理者の自己評価】 新型コロナ感染防止対策をし、参加定員の制限をしつつ、可能な限りの事業を実施し、利用者を楽しんでいただけた。					
	【①に係る施設所管課の評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める中、市と協議しながら適正な制限を設け運営出来ています。修繕箇所も迅速に対処出来ており、自主事業も多数開催されました。今後も可能な限り来館者が楽しめる運営をお願いします。					
					区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】					
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		A	1月にアンケート実施。	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	従来ルールを変更した場合によくクレームあるも、適切に対応。	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	第4四半期は無し。	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A	手指消毒や健康チェックの励行と、利用者にも使用場所は払拭を依頼。清掃はシンコー主体に実施されている。	
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A		
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】					
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設	A	第2木曜の10時～11時半。	
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができていますか	A	感染症注意喚起の掲示	A		
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施している	A	南部包括支援センターの協力を得て自主事業認知症サポーター養成講座を実施	A		
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を掲載	A		
	【②に係る指定管理者の自己評価】 前事業所の職員を継続雇用でき、平常どおり利用者への対応が出来ている。 自主事業として他機関と連携協力イベントを実施。 物販1～3月売上件数(コピー白黒330件、タオル5件)					
【②に係る施設所管課の評価】 コロナ禍の中、衛生管理が徹底され来館者への啓発も可能な限り行なわれています。アンケート結果の改善可能な意見については、改善実施をお願いします。				区分評価	A	
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	黒字にはなっていないが、委託料の中でやりくりしている。	
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	売上帳簿や会計帳簿等がある。	
	経理処理は適正に行われているか	A		A		
	収入増加のための取組がなされているか	A	前事業所からの物販を継続カラーコピーを導入	A		
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A	電気の消灯、裏紙利用等。	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことが出来ている。 新型コロナ拡大防止対策をとり各種事業を実施。					
	【③に係る施設所管課の評価】 必要な帳簿は備えられており健全な運営が行なわれています。今後も引き続き来館者に適切なサービスが提供出来るよう宜しくお願いします。				区分評価	B

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。